

令和4年4月1日

2021年度 自己点検・自己評価

学校法人湖南学園
早稲田外語専門学校
校長 井上 正

5：達成している 4：ほぼ達成している 3：どちらとも言えない 2：取り組みを検討中 1：改善が必要

1. 教育理念・目的等		評価
1	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	5
2	1-2 学校の特色は何か	5
3	1-3 学校の将来構想を抱いているか	5
4	1-4 理念に基づく教育が行われているか	5
<p>〈現状・具体的な取り組み／課題〉</p> <p>世界どこの国にいても人の役に立てる「グローバル人材」の育成が本校の使命と考える。そのため語学の習得のみならず、校外学習や文化体験を通して、その国（言語圏）への理解を深め、コミュニケーションが円滑に取れる人物を養成する。マスプロ教育を廃し、少人数教育に徹し、学生一人一人に寄り添った教育を実践している。今後、よりグローバル化する世界に有能な人材を送り出すべく独自の教育プログラムの開発、実践を今後も行っていく。</p>		

2. 学校運営		評価
5	2-1 運営方針は定められているか	5
6	2-2 事業計画は定められているか	5
7	2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか	4
8	2-4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	4
9	2-5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	5
10	2-6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	5
11	2-7 危機管理体制は整備されているか	4
12	2-8 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるよう学校教育法に基づき整備されているか	5
<p>〈現状・具体的な取り組み／課題〉</p> <p>毎年度開始前に年間スケジュールに沿った事業計画、運営方針の策定を行っている。学校長統括の基、教務部門、事務部門の連携によりスピード感のある意思決定がなされている。</p> <p>各職員の処遇は就業規則に則り行われている。PC、クラウド、その他情報機器を活用して業務の効率化や情報共有、教職員間のコミュニケーションが図られている。</p> <p>理事会、評議委員会による客観的な学校運営の評価、指導が定期的になされている。地震・災害などの危機管理については「危機対応マニュアル」を作成し、各教職員に周知するとともに、各部署に担当者を置き、学期ごとの会議においてマニュアルの再確認やその時々にあった更新が行われる。</p>		

施設・設備に関しては定期的（年４回）に点検を行うが、不具合が発生した場合は、定期点検を待たず、すみやかに修繕・修復を行い、安全確保に努めている。

3. 教職員		評価
13	3-1 教育理念・目的が教職員間で共有されているか	5
14	3-2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	5
15	3-3 教職員評価を行っているか	5
<p>〈現状・具体的な取り組み／課題〉</p> <p>校長、事務長、学科担当課長を中心に教育理念、目的を共有し、学期ごとに校長、専任教職員、非常勤教員が出席する全体会議を実施。その際、校長から当校の教育理念の確認と学期の目標を作成している。全体会議の後、チームティーチングで授業を運営する上で共有すべきクラスの目標、教材の進め方、進度等、担当の常勤教員を中心として共有する。</p> <p>教育の質の向上として、情報機器類やソフトウェアを導入し、学生の理解度アップに努めている。</p> <p>非常勤教員に対しては当校への勤務開始時および定期的に専任教員、外国人ヘッドティーチャーが全授業の見学を行い、質の維持に努めている。新任教員に対してはヘッドティーチャーが教案のチェックや授業見学を行い、本人にフィードバックを行い、授業の質の向上に努めている。また、各学期末に学生アンケートと担当専任講師からの聞き取り調査を実施し、評価をおこなっている。</p> <p>常勤の教職員に関しては学校長が設置者の定めた評価基準に沿って、各上長からの報告を基に教職員の評価を行っている。</p>		

4. 教育活動		評価
16	4-1 カリキュラムは体系的に編成させているか	5
17	4-2 授業評価の実施・評価体制はあるか	5
18	4-3 目標に向け授業を行うことができる要件資質を備えた教員を確保しているか	5
19	4-4 成績評価は適切に行われているか	5
20	4-5 各種日本語試験の認定率向上のための指導體制は整っているか	5
<p>〈現状・具体的な取り組み／課題〉</p> <p>英語の４技能を鍛える授業では、学習到達レベル、レベルチェックテストの結果によって細かくクラスが分けられ、初級から上級まで体系的に学べるようクラス編成を行っている。</p> <p>校長監督の基、授業担当教員がカリキュラム（シラバス）を作成、そのカリキュラムに沿って生徒指導を行っている。各レベルで各種検定試験の目標レベルを設定し、学生及び講師が明確な目標に向かい授業が運営できるような体制になっている。本校は前期、後期に学期が分かれ、各期に２回定期試験を実施し、成績の結果を見てクラスの再編成を行っている。</p> <p>成績評価は授業態度や提出物、出席率などを見て総合的に判断し、授業担当教員が評価をおこなう。また各期の最後に学生に自己評価、授業評価、講師評価、カリキュラムの評価をアンケート方式で行い、その結果を次の期の授業や講師への指導に反映させている。</p> <p>また、留学生に対しては受験者が多い日本語能力試験の対策として、専用の授業を開講し、各授業で過去問題を使用するなど実践的に問題が解けるように指導をしている。</p>		

5. 学生支援		評価
21	5-1 進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
22	5-2 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
23	5-3 学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか	5
24	5-4 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5
25	5-5 保護者と適切に連携しているか	4
26	5-6 卒業生への支援体制はあるか	4
<p>〈現状・具体的な取り組み／課題〉</p> <p>就職希望者に対し、「キャリアデザイン」という授業の中で就職の初歩から学び、就職指導担当教員が中心となり、ホームルーム担当教員と連携を取りながら希望する仕事に就けるよう個別指導を行っている。ホームルーム担当教職員により年間4回個別面談を実施し、個人の進路や学校生活のサポートを行っている。</p> <p>生徒の個人情報は一括管理され、緊急時には本人、保護者にすぐに連絡できる体制を取っている。</p> <p>学生の心身面で問題が見られた場合は、ホームルームクラス担当が面談を行い、状況を把握の上、保護者とも連携を取って適切に対処を行う。授業中に病気・事故・怪我の際には学校近隣のクリニックや総合病院の紹介、場合によっては付き添いもおこなっている。</p> <p>コロナウイルスをはじめとした感染症防止のため、学校として国の指針に沿ったガイドラインを作成し、濃厚接触者や実際に罹患した学生については、ガイドラインに沿って医療機関の受診や自宅待機の指示などを行い、学校内で感染が広がらないよう万全な措置をおこなっている。</p> <p>学生寮については女子寮を徒歩圏内の直営寮を保有している。また、提携寮とは管理人や管理会社と連携して情報を共有し、問題発生時にはすぐに管理人及び当校のスタッフが対応できる体制を整えている。</p> <p>卒業生への対応については各種証明書の発行、就職情報の提供、ビザ更新時の情報・資料提供、及び必要に応じて各種相談を受け付けている。</p>		

6. 在留管理と生活指導		評価
27	6-1 在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	5
28	6-2 日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	5
29	6-3 我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	5
30	6-4 常に最新の学生情報を把握しているか	5
<p>〈現状・具体的な取り組み／課題〉</p> <p>学生の情報については、学生情報システムを使用して、個人情報の管理を行っている。留学生についてはアルバイト先の情報、同居人の情報、母国の情報など、さらに多くの情報を収集し生活指導やサポートに役立てている。</p> <p>留学生に向けても日本での就職を実現するために就職指導の授業が設けられており、その中で日本の法律の遵守を含め、日本でこれからも暮らすことを念頭に日本社会について学ぶ機会を設けている。</p> <p>留学生についてはクラス担任の他、留学生担当との面談の機会も設け、出席率の確認、学校での現状（授業に関することも含む）、アルバイトなどについて毎回話しを聞き、困っていればアドバイスや支援を行</p>		

う。生徒の情報に関しても毎回内容を確認し、変更があった場合はその都度更新を行っている。

7. 学生の募集と受け入れ		評価
31	7-1 学生の受け入れ方針は定められているか	5
32	7-2 学生募集活動は、適正に行われているか	5
33	7-3 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
34	7-4 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5
35	7-5 適正な定員設定及び在籍者数になっているか	4
<p>〈現状・具体的な取り組み／課題〉</p> <p>生徒受け入れのガイドライン（内規）を設定し、学生募集の指針としている。入学方法、出願期間等については東京都専修学校各種学校協会の決定を遵守し設定している。入学案内書やホームページ、学校説明会を通し教育成果は広く一般に伝えられており、入学選考も上述のガイドラインに沿って行われている。定員については学則に沿っており、設備及び教員数は適切であり、クラスが増えても対応できる余裕を持たせている。</p>		

8. 財務		評価
36	8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
37	8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
38	8-3 財務について会計監査が適正に行われているか	5
39	8-4 財務情報公開の体制整備はできているか	4
<p>〈現状・具体的な取り組み／課題〉</p> <p>学園設置者においては、所有する預金残高・保有資産等から十分な財務基盤が確立されている。この点では中長期的にも、ほぼ安定した財務基盤にある。</p> <p>予算・収支計画については、理事会・評議委員会の場合、公開及び検討の後、各会で承認を受けており有効かつ妥当なものである。</p> <p>適正な会計処理を税理士法人と連携して行い、その後、監事による会計監査、理事会、評議委員会における監査報告を行い、承認を受けている。また、適正な予算の執行のため決算報告に加え、上半期の中間報告も実施している。よって会計監査は適正に達成されている。</p> <p>財務情報公開についても、閲覧希望者には学園窓口で公開するなど適正に対処している。</p>		

9. 法令等の遵守		評価
40	9-1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
41	9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5
42	9-3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	5
43	9-4 自己点検・自己評価結果を公開しているか	5
44	9-5 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	5

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

当校は学園顧問弁護士監修の基、法令、設置基準等を遵守し、文科省、法務省、東京都、新宿区への各種報告も定期的に行っている。

個人情報に関しては扱う職員を限定し、外部からの攻撃を遮断するため、ネットワークにはファイアウォールを設置し、個人情報の管理を行う PC のみならず、コンピューターウイルス感染予防のため、ウイルスソフトウェアも常に最新のものにアップデート行っている。

定期的に変更を行う強固なパスワードで PC を保護し、保存データはクラウド等の仕組みを活用し、情報漏洩防止のためアクセス権限を設定し、特定の者が管理を行っている。

学校の自己点検・自己評価は 2 年に 1 回実施し、実施のたびホームページに公開している。

10. 社会貢献		評価
45	10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4
46	10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	4

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

校舎屋上に NTT ドコモの基地局を設置し、学校周辺地域の電波環境の向上に寄与している、また、校舎敷地内に自動販売機を設置し、市価より安価で飲料を販売し、周辺居住者等にも多くの利用がある。今後、当校生や近隣住民に役立つよう校地の空きスペースに宅配ボックスを設置する計画も進行している。学内の掲示板には求人票の他、ボランティア等案内があれば掲示し参加を募っている。学校が指定したボランティア活動に参加した場合、教育効果の低減を避けるため回数に制限を設けるが、授業を出席扱いすることで学生のボランティア活動への参加を促している。

総括

現在、各項目においておおむね目標が達成されているが、社会貢献への対応についてはさらに学校としてできることを検討していく必要があるだろう。

現在問題がない部分においても時代の流れとともに変化していかなくてはならない部分もあるので、定期的に見直しを行い、さらに充実させていきたいと考える。

令和4年6月10日
学校法人湖南学園
早稲田外語専門学校
校長 井上 正

2021年度早稲田外語専門学校 自己点検・自己評価に対する学校評価委員評価

2021年度学校関係者評価委員会は、2021年度自己点検・自己評価報告書の結果に基づいて学校関係者評価を行いましたので、下記の通り報告いたします。

- 1.対象期間：2021年（令和3年）4月1日～2022年（令和4年）3月31日
- 2.開催日時：2022年（令和4年）5月27日（金）
- 3.開催場所：早稲田外語専門学校

○学校関係者評価委員

- ・大垣恵太郎 卒業生 株式会社ヨドバシカメラ
- ・中野真実 卒業生 神奈川大学外国語学部
- ・崔 新亮 業界関係者 ウレスジ商事株式会社 留学部

学校の自己点検・自己評価につき下記の判定基準により評価。各評価は評価委員による評価の平均値。

<評価基準>

- 5：達成していると思われる
- 4：ほぼ達成していると思われる
- 3：どちらとも言えない
- 2：若干の改善をするべきと思われる
- 1：全面的に改善をするべきと思われる

1. 教育理念・目的について 評価

1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	5.0
1-2 学校の特色は何か	5.0
1-3 学校の将来構想を抱いているか	4.7
1-4 理念に基づく教育が行われているか	4.7

〈現状・具体的な取り組み / 課題〉

世界どこの国にいても人の役に立てる「グローバル人材」の育成が本校の使命と考える。そのため語学の習得のみならず、校外学習や文化体験を通して、その国（言語圏）への理解を深め、コミュニケーションが円滑に取れる人物を養成する。マスプロ教育を廃し、少人数教育に徹し、学生一人一人に寄り添った教育を実践している。今後、よりグローバル化する世界に有能な人材を送り出すべく独自の教育プログラムの開発、実践を今後も行っていく。

2. 学校運営について 評価

2-1 運営方針は定められているか	5.0
2-2 事業計画は定められているか	5.0
2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか	5.0
2-4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	5.0
2-5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	5.0
2-6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	5.0
2-7 危機管理体制は整備されているか	5.0
2-8 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるよう 学校教育法に基づき整備されているか	4.7

〈現状・具体的な取り組み / 課題〉

毎年度開始前に年間スケジュールに沿った事業計画、運営方針の策定を行っている。学校長統括の基、教務部門、事務部門の連携によりスピード感のある意思決定がなされている。

各職員の処遇は就業規則に則り行われている。PC、クラウド、その他情報機器を活用して業務の効率化や情報共有、教職員間のコミュニケーションが図られている。

理事会、評議委員会による客観的な学校運営の評価、指導が定期的になされている。地震・災害などの危機管理については「危機対応マニュアル」を作成し、各教職員に周知するとともに、各部署に担当者置き、学期ごとの会議においてマニュアルの再確認やその時々にあった更新が行われる。

施設・設備に関しては定期的（年4回）に点検を行うが、不具合が発生した場合は、定期点検を待たず、すみやかに修繕・修復を行い、安全確保に努めている。

3. 教職員について

評価

- | | |
|--------------------------------|-----|
| 3-1 教育理念・目的が教職員間で共有されているか | 4.7 |
| 3-2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか | 4.7 |
| 3-3 教職員評価を行っているか | 4.7 |

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

校長、事務長、学科担当課長を中心に教育理念、目的を共有し、学期ごとに校長、専任教職員、非常勤教員が出席する全体会議を実施。その際、校長から当校の教育理念の確認と学期の目標を作成している。

全体会議の後、チームティーチングで授業を運営する上で共有すべきクラスの目標、教材の進め方、進捗等、担当の常勤教員を中心として共有する。

教育の質の向上として、情報機器類やソフトウェアを導入し、学生の理解度アップに努めている。

非常勤教員に対しては当校への勤務開始時および定期的に専任教員、外国人ヘッドティーチャーが全授業の見学を行い、質の維持に努めている。新任教員に対してはヘッドティーチャーが教案のチェックや授業見学を行い、本人にフィードバックを行い、授業の質の向上に努めている。また、各学期末に学生アンケートと担当専任講師からの聞き取り調査を実施し、評価をおこなっている。

常勤の教職員に関しては学校長が設置者の定めた評価基準に沿って、各上長からの報告を基に教職員の評価を行っている。

4. 教育活動について

評価

- | | |
|--|-----|
| 4-1 カリキュラムは体系的に編成させているか | 5.0 |
| 4-2 授業評価の実施・評価体制はあるか | 5.0 |
| 4-3 目標に向け授業を行うことができる要件資質を備えた教員を確保しているか | 4.7 |
| 4-4 成績評価は適切に行われているか | 4.7 |
| 4-5 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか | 5.0 |

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

英語の4技能を鍛える授業では、学習到達レベル、レベルチェックテストの結果によって細かくクラスが分けられ、初級から上級まで体系的に学べるようクラス編成を行っている。

校長監督の基、授業担当教員がカリキュラム（シラバス）を作成、そのカリキュラムに沿って生徒指導を行っている。各レベルで各種検定試験の目標レベルを設定し、学生及び講師が明確な目標に向かい授業が運営できるような体制になっている。本校は前期、後期に学期が分かれ、各期に2回定期試験を実施し、成績の結果を見てクラスの再編成を行っている。

成績評価は授業態度や提出物、出席率などを見て総合的に判断し、授業担当教員が評価をおこなう。また各期の最後に学生に自己評価、授業評価、講師評価、カリキュラムの評価をアンケート方式で行い、その結果を次の期の授業や講師への指導に反映させている。

また、留学生に対しては受験者が多い日本語能力試験の対策として、専用の授業を開講し、各授業で過去問題を使用するなど実践的に問題が解けるように指導をしている。

<u>5. 学生支援について</u>	評価
5-1 進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5.0
5-2 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4.7
5-3 学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか	4.7
5-4 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5.0
5-5 保護者と適切に連携しているか	4.7
5-6 卒業生への支援体制はあるか	5.0

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

就職希望者に対し、「キャリアデザイン」という授業の中で就職の初歩から学び、就職指導担当教員が中心となり、ホームルーム担当教員と連携を取りながら希望する仕事に就けるよう個別指導を行っている。

ホームルーム担当教職員により年間4回個別面談を実施し、個人の進路や学校生活のサポートを行っている。

生徒の個人情報は一括管理され、緊急時には本人、保護者にすぐに連絡できる体制を取っている。学生の心身面で問題が見られた場合は、ホームルームクラス担当が面談を行い、状況を把握の上、保護者とも連携を取って適切に対処を行う。授業中に病気・事故・怪我の際には学校近隣のクリニックや総合病院の紹介、場合によっては付き添いもおこなっている。

コロナウイルスをはじめとした感染症防止のため、学校として国の指針に沿ったガイドラインを作成し、濃厚接触者や実際に罹患した学生については、ガイドラインに沿って医療機関の受診や自宅待機の指示などを行い、学校内で感染が広がらないよう万全な措置をおこなっている。

学生寮については女子寮を徒歩圏内の直営寮を保有している。また、提携寮とは管理人や管理会社と連携して情報を共有し、問題発生時にはすぐに管理人及び当校のスタッフが対応できる体制を整えている。

卒業生への対応については各種証明書の発行、就職情報の提供、ビザ更新時の情報・資料提供、及び必要に応じて各種相談を受け付けている。

<u>6. 在留管理と生活指導（日本語学科、総合英語学科留学生）について</u>	評価
6-1 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	5.0
6-2 日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	5.0
6-3 我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	5.0

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

学生の情報については、学生情報システムを使用して、個人情報の管理を行っている。留学生についてはアルバイト先の情報、同居人の情報、母国の情報など、さらに多くの情報を収集し生活指導やサポートに役立てている。

留学生に向けても日本での就職を実現するために就職指導の授業が設けられており、その中で日本の法律の遵守を含め、日本でこれからも暮らすことを念頭に日本社会について学ぶ機会を設けている。留学生についてはクラス担任の他、留学生担当との面談の機会も設け、出席率の確認、学校での現状（授業に関することも含む）、アルバイトなどについて毎回話しを聞き、困っていればアドバイスや支援を行う。生徒の情報に関しても毎回内容を確認し、変更があった場合はその都度更新を行っている。

7. 学生の募集と受け入れについて

評価

7-1 学生の受け入れ方針は定められているか	5.0
7-2 学生募集活動は、適正に行われているか	5.0
7-3 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4.7
7-4 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5.0
7-5 適正な定員設定及び在籍者数になっているか	5.0

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

生徒受け入れのガイドライン（内規）を設定し、学生募集の指針としている。入学方法、出願期間等については東京都専修学校各種学校協会の決定を遵守し設定している。入学案内書やホームページ、学校説明会を通し教育成果は広く一般に伝えられており、入学選考も上述のガイドラインに沿って行われている。

定員については学則に沿っており、設備及び教員数は適切であり、クラスが増えても対応できる余裕を持たせている。

8. 財務について

評価

8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4.7
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5.0
8-3 財務について会計監査が適正に行われているか	5.0
8-4 財務情報公開の体制整備はできているか	4.7

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

学園設置者においては、所有する預金残高・保有資産等から十分な財務基盤が確立されている。この点では中長期的にも、ほぼ安定した財務基盤にある。

予算・収支計画については、理事会・評議委員会の場で、公開及び検討の後、各会で承認を受けており有効かつ妥当なものである。

適正な会計処理を税理士法人と連携して行い、その後、監事による会計監査、理事会、評議委員会における監査報告を行い、承認を受けている。また、適正な予算の執行のため決算報告に加え、上半期の中間報告も実施している。よって会計監査は適正に達成されている。

財務情報公開についても、閲覧希望者には学園窓口で公開するなど適正に対処している。

9. 法令等の遵守について 評価

9-1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5.0
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5.0
9-3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4.7
9-4 自己点検・自己評価結果を公開しているか	5.0
9-5 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	5.0

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

当校は学園顧問弁護士監修の基、法令、設置基準等を遵守し、文科省、法務省、東京都、新宿区への各種報告も定期的に行っている。

個人情報に関しては扱う職員を限定し、外部からの攻撃を遮断するため、ネットワークにはファイアーウォールを設置し、個人情報の管理を行う PC のみならず、コンピューターウイルス感染予防のため、ウイルスソフトウェアも常に最新のものにアップデート行っている。

定期的に変更を行う強固なパスワードで PC を保護し、保存データはクラウド等の仕組みを活用し、情報漏洩防止のためアクセス権限を設定し、特定の者が管理を行っている。

学校の自己点検・自己評価は2年に1回実施し、実施のたびホームページに公開している。

10. 社会貢献について 評価

10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4.7
10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	4.7

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

校舎屋上にNTTドコモの基地局を設置し、学校周辺地域の電波環境の向上に寄与している、また、校舎敷地内に自動販売機を設置し、市価より安価で飲料を販売し、周辺居住者等にも多くの利用がある。今後、当校生や近隣住民に役立つよう校地の空きスペースに宅配ボックスを設置する計画も進行している。

学内の掲示板には求人票の他、ボランティア等案内があれば掲示し参加を募っている。学校が指定したボランティア活動に参加した場合、教育効果の低減を避けるため回数に制限を設けるが、授業を出席扱いすることで学生のボランティア活動への参加を促している。